



成隣だより

平成29年4月6日
第1号
昭島市立成隣小学校
校長 加賀田 真理



新たな学校生活のスタート

校長 加賀田 真理

今年は、東京が全国で最も早い桜の開花宣言を行いました。その後はなかなか気温が上がらず、三寒四温という言葉を使いながら4月を迎えましたが、やっと桜も咲き始めたようです。

春は、別れと出会いのある季節です。この3月に本校を巣立って行った6年生の子供たちも、それぞれの場所で中学校という新たなステージでの第一歩を踏み出しているはずで、成隣小の卒業生としての誇りを持ち、ぜひ一人一人が個性を發揮しながら活躍してほしいと思います。

また本校でも、元気な新入生の66名を成隣小に迎えて、全校372名、全12学級での新年度のスタートとなりました。

毎年毎年、同じような春でありながら、今年の春は、今年しかない一度きりの春であり、子供たちにとって生涯一度きりのその学年のスタートです。新たなクラス、新たな友達、新たな先生など、春の出会いがたくさんあります。このわくわく、ドキドキする気持ちを大切に、今年一年、子供たちが一歩ずつ、一歩ずつ、充実した歩みを進めていくことができるよう教育活動に取り組んでまいります。

今年度は、“つくる”ことを大切に一年にしていきます。“つくる”過程において「昨日とは違う、新たな自分との出会い」が子供たちにとってたくさんある一年にしたいと考えています。

今年度の本校の教育目標は、次のとおりです。

人間尊重の精神を基調とし、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成し、生涯にわたる学習の基礎を培う教育を推進するために次の教育目標を設定する。

- ◎ すすんで学ぶ子（知） 自ら学び、考え、表現する
- 心豊かな子（徳） 自らを律し、他人を思いやる
- たくましい子（体） 心の強さ・忍耐、健康と体力の維持・管理

言葉の上では昨年度との変更はありません。しかし、今年は「すすんで学ぶ」とはどのような子供たちの姿なのか、「心豊かな」とはどのような子供たちの姿なのか、「たくましい」とはどのような子供の姿なのかについて、その質を問い直す一年にしていきたいと考えています。

「子供たちの具体的な姿」のイメージを保護者や地域の方々と共に共有しながら、改めて教職員一丸となって一歩ずつ教育活動を進めてまいります。

3月31日には新学習指導要領の告示があり、新たな時代の息吹が感じられる春でもあります。今年度も学校へのご支援やご協力を、どうぞ、よろしくお願いいたします。